

三心を磨く

学校だより NO. 10

平成28年 7月21日(木) 発行

須坂市立 東 中学校

文責：奥 幸雄 (教頭)

<http://www.azuma-school.ed.jp/>

3年生への校長講話 7月20日(水)

私も一緒に応援しています

みなさん、おはようございます。

7月も半ばとなり、1学期もあと1週間となりました。

先週末に県大会も終わり、多くの皆さんは部活動を引退した形になりました。まだ、これから大会やコンクールのある部もありますが、一区切りついた皆さんが多いので、部活動にかかわって、私が若い頃経験したことをお話ししたいと思い、3年の先生方をお願いして、時間をとっていただきました。10分程度の短い話ですので、聞いてください。話のテーマは「私も応援席で一緒に戦います」です。

今から25年前のことです。私は、上高井のある中学校の男子バスケットボール部の顧問をしていました。

郡市球技大会を迎えた日の朝のことです。会場となる市民体育館でバスケットボールの試合のあった私は、学校に作戦盤やホイッスル、応援旗などを取りに行きました。すべての準備を整え、確認して車に積み込み、学校の玄関の鍵をかけようとしていたときです。男子バスケットボール部の一人の生徒の保護者の方から声をかけられました。会場へ持っていくことになっていた品物を、下駄箱に入れたまま忘れてしまったので、取りに来たということです。生徒昇降口を開け、忘れ物を保護者の方に渡したときのことでした。「先生、今日の試合は頑張ってくださいね。」と言われ、「今までの練習の成果を、精一杯発揮できるような試合にしたいと思います。」と答えたときです。その保護者の方は、「今日は、息子にとっても最後の試合かもしれませんが、私にとっても最後の大会なのです。」と言うのです。

私は、そのとき、はずかしながら一瞬何を言われているのかわかりませんでした。3年生にとっては、負ければ終わりの最後の夏の大会です。それは十分すぎるくらいにわかっていたのですが、それと、保護者の方の「私にとっても最後の大会なのです」という言葉が結びつかなかったのです。きょとんとしている私の顔を見て、その保護者の方は次のように続けてお話されました。「息子が部活に入ってから2年間、子供と一緒に、朝早く起きて朝食を作り、練習試合といえば送り迎えをしてきました。それが、どんなに、私が風邪をひいて具合が悪い日であってもです。つらいときもありましたが、息子が頑張っているからと思えば、私も頑張れました。だから今日は、私にとっても最後の夏の大会なのです。だから先生、頑張ってください。私も応援席で一緒に戦います。」

この言葉を聞いたときに、私は熱いものがこみ上げてくる思いがしました。今までの部活動の裏には、このような保護者の方々の多くの支えがあって、初めて今日があることを、改めて実感したのです。

幸いにもこのチームは運も味方し、郡大会、北信大会も勝ち抜き、県大会へ駒を進めました。そして北信越大会出場を決める試合で、惜しくも50-53で負けてしまいました。選手にとって、初めての県大会でしたので、とてもよい思い出となりました。あと3点…。小さいけれど大きな3点でしたが、最後の夏を楽しむことができました。試合のたびに、多くの保護者の皆さんに応援していただき、一つ勝つごとに、涙がありました。それは、3点差で負けて泣く涙まで、続きました。

3点差で敗れ、北信越大会に進めなかった翌日、部員を集めて、ミーティングを行いました。その中で私は、このお母さんの話をし、今まで支えてくださったお家の方に、自分の言葉で感謝の気持ちを表すようにと話しました。しかし、中学生の男子です。なかなか素直に、感謝の気持ちを表すことは、照れくさくて、できないかも知れないと思っていました。

この保護者の息子は、はずかしがりやさんで、学校のことや部活動のこと、友だちのこと等を、あまり家では話さない生徒でした。そのため、半ば諦めていたのですが、翌日、このお母さんから電話をもらいました。学校のことなどは何も話さない息子が、昨日は両親の前で、「今までありがとう」と素直に感謝の気持ちを表したというのです。そして、「高校に行ってもバスケットを続けたいので、バスケットの強い地元の高校に進学したいがよいか」と相談したそうです。「今まで支えてきて本当によかった。部活動を通して、息子は本当に成長しました。」と喜んでおられました。電話をもらった私も、本人の成長を大変嬉しく思いました。

みなさん。

私もそうですが、みなさん一人一人の後ろには、今まで支えて下さった多くの先生方、保護者の方々、地域の方々がいらっしゃるのです。決して、自分だけが頑張ってきたものではありません。多くの方々の支えがあって部活動を行ってこれているのです。3年生のみなさん。部活動に一区切りがついた今、今まで支えてくださった先生、家族、地域の方々に、素直に感謝の気持ちを表してください。そして、これからは、自分の進路を第一に考えてください。

高校に進学したら、この生徒のように、同じ部活動を続けても結構ですし、違ったスポーツや部活動に取り組んでも結構です。それは、みなさんが自分で決めることです。しかし、中学卒業後の進路が決まらない限り、次のステップはありません。そのためにも、一生懸命に勉強に取り組んでください。それが、今まで、支えてくださった家族、先生方、地域の皆様への恩返しです。私からのお願いでもあります。

終わります。

1学期もあとわずかとなりました。

夏休みまで、登校日が残すところあと3日です。先日はそれぞれの地区で懇談会をもちました。ありがとうございます。まとめをしっかりと、いい夏休みを迎えてほしいと思います。